

[参考資料]

1998年10月26日

報道関係者各位

[リリース 日本語訳]

ノバルティス第3四半期売上、加速度を増す 1月 9月の売上は6%増

10月22日、スイス・バーゼル市

ライフサイエンスのリーダー ノバルティスは、第3四半期の売上を大きく伸ばし、今年9月間の総売上は、246億スイスフラン (約 2兆 2374億円)となりました。これは、現地通貨で前年比6%増、スイスフランでは、3%増となります。第3四半期の売上は、現地通貨で12%増、スイスフランで7%増でした。この主な要因は、医薬品、種子、動物薬の力強い成長にあります。通年の見通しとして、ノバルティスは、純利益の大幅な増加を見込んでいます。

グループ売上

	1998年		1997年		前年比	
	百万スイスフラン	億円	百万スイスフラン	億円	スイスフラン	現地通貨
9ヶ月間 (1月 - 9月)	24,590	22,374	23,851	19,565	3%	6%
第3四半期 (7月 - 9月)	7,820	7,115	7,289	5,979	7%	12%

1) 換算レート: 1スイスフラン=90.99円

2) 換算レート: 1スイスフラン=82.03円

ヘルスケア (現地通貨で7%増)

上半期は低調でしたが、**医薬品**の売上は7%増と上昇しました。特に処方薬の増加をみた米国での好成績がこれに貢献しています。日本は、厳しい環境の中、高コレステロール血症治療薬「ローコール」を上市し健闘しました。ヨーロッパでも好調で、特にスペインとイタリアが好成績を収めました。売上に貢献した主な製品は、骨吸収抑制剤「アレディア」(62%増)、高血圧症治療薬「チバセン」(29%増)、持続性ソマトスタチンアナログ製剤「サンドスタチン」(43%増)、ぜん息薬「フォラジール」(27%増)でした。高血圧症治療薬

「ディオバン」およびディオバンとサイアザイト系利尿降圧剤の合剤「コディオバン」をあわせて2億9000万スイスフラン(約264億円)の売上を達成し、この急成長する分野でのシェアを更に拡大しました。高コレステロール血症治療薬「ローコール」の売上は加速度を増し、骨粗鬆症治療薬「ミアカルシック」(22%)は、閉経後の女性の脊椎骨折の36%がこれにより防げたという臨床結果に支えられ、好調に伸びました。免疫抑制剤「シムレクト」が、米国で成功裡に上市されました。パーキンソン病治療薬「コムタン」が世界に先駆けてヨーロッパで承認されました。

ジェネリックは14%増で、医薬業界向け製品、特にセファロsporinが順調に伸びました。店頭販売薬のビジネスは、ドイツで引き続き厳しい価格競争にさらされましたが、米国での売上は大幅に上向きしました。

チバビジョンは7%増で、日本とヨーロッパ、特にドイツ、イタリア、スイスで引き続き堅調な伸びを持続しました。眼科用医薬品は、特に非ステロイド抗炎症剤「ボルタレンオфта」とジェル状人工涙液「ビスコティアーズ」が牽引力となり、さらに大きく売上を伸ばしました。オプティックスは、頻回交換型レンズが順調な伸びを示しており、その中でも1日使い捨てソフトコンタクトレンズ「フォーカスデイリーズ」は上市以降、ヨーロッパの主要市場で既にリーダー的地位を確保し、米国でもダイナミックな成長を続けています。最初のアンチセンス薬「ビトラベーン」が、エイズ患者のサイトメガロウイルス性網膜炎治療薬として、米国食品医薬品局の認可を得ました。

アグリビジネス (現地通貨で4%増)

農薬は3%増で、ラテンアメリカ、オーストラリア、アジア諸国で大きく伸びました。他方、年初めの悪気候と価格競争により米国、西ヨーロッパは、マイナス影響を受けました。第3四半期に入り、主にブラジルを中心とする中南米において力強い展開があり、業績が好転しました。アバメクチン製剤「ベルティメック」などの殺虫剤と種子処理剤が記録的な売上を達成しました。除草剤「ピック」と殺菌剤「リドヨレ・ゴールド」も大きく売上を伸ばした製品です。

種子の売上は10%増でした。米国の大豆とヨーロッパのひまわりなどの油糧作物が大きく伸びました。野菜種子の売上は世界的に急増化しました。テンサイとトウモロコシは、ヨーロッパで作付け面積の減少と価格競争の影響を受けました。北米では、Btコーンの新しい品種が成功して、シェアを伸ばしました。

動物薬は5%増でした。米国、フランス、およびヤング社の動物薬部門を統合したオースト

ラリアで、売上が大幅に伸びました。新製品の導入に支えられ、ペット薬は好調でした。米国、日本、EU で6ヶ月有効のねこ用ノミ駆除薬「プログラム注射液」、EU で犬用分離不安治療薬「クロミカルム」がそれぞれ上市されました。アジアの経済危機がマイナス影響となりましたが、畜産動物部門の活躍が奏して、ラテンアメリカの売上は大変好調でした。

コンシューマーヘルス (現地通貨で3%増)

栄養食品は、4%増でした。乳幼児栄養食品は、新しいテンダーハーベットのシリーズの成功と、ガーバー・グラデュエイトの引き続き好調に支えられ、米国市場では最高の72%のシェアを勝ち取りました。ラテンアメリカの売上も大きく増加し、特にメキシコとブラジルの健闘ぶりが目立ちました。健康栄養食品は、フランスとイタリアで、健康食品と痩身食品が力強い伸びを見せて好調でした。医療用栄養食品では、「リノース」の伸びが大きく貢献しました。

一般薬は0%増でした。米国で上半期に不調だった風邪薬の売上が好転しました。ヨーロッパでは、特にスイスとベネルックス三国での売上が引き続き好調でした。鎮痒剤「フェニスタイル (Fenistil)」、静脈瘤治療薬(下腿)「ベノルトン (Venoruton)」、禁煙補助薬「ニコチネル」が売上を伸ばしました。

コンシューマーヘルス部門の統合進む

8月末、バルティスは、一般薬と栄養食品を統合し、新しくコンシューマーヘルス部門を創設すると発表しました。これに伴い、栄養食品の約13億スイスフラン(約1183億円)相当の非戦略的ブランドを売却する予定で、既に、スイスのスナックフード製造会社のローランド・ムータン社と、米国の医療用品流通業レッドライン・ヘルスケア社の売却契約を結びました。コンシューマーヘルス部門は、来年初頭までに統合を終了する予定です。

技術革新への投資

バルティス研究財団は、7月、向う10年間に6億ドルを投入して、世界で最も大規模な植物ジェノミクス研究所、バルティス・アグリカルチュラル・ディスカバリー研究所(NADI)を、カリフォルニアに建設予定の、バルティス・ファンクショナル・ジェノミクス研究所(NIFG)に隣接して創設すると発表しました。これにより、バルティスが研究開発において、世界をリードする企業としての基盤をさらに強固なものとしました。さらに9月には、米国にある、細胞と遺伝子治療分野におけるパイオニア企業、システムクス社とジェネティック・セラピー

GTI)社の活動を統合すると発表しました。この統合により、必要な最低規模を確保し、重複あるいは余剰人員を削減することができます。

見通し

バルティスは、順調に統合作業を進めています。ヘルスケア部門における生産性の向上と生産量の伸びが、グループ全体の営業利益を押し上げるものと予想されます。しかし、財務利益は下半期の金融市場における低迷を反映するでしょう。予期されない経済的、金融的变化がなければ、通年の純利益は大きく増加すると予想しています。

バルティスは、ヘルスケア、アグリビジネス、コンシューマーヘルス(一般薬、栄養食品)を事業の柱とする、ライフサイエンスにおける世界的リーダーです。1997年度バルティス・グループの売上は312億スイフランで、そのうちヘルスケアは170億スイフラン、アグリビジネスは83億スイフラン、コンシューマーヘルスは59億スイフランでした。研究開発への投資は年間36億スイフランを越えます。スイス・バーゼルに本拠を置くバルティスは、約8万6000人の社員を擁し、世界100カ国以上で事業を行っています。

お問い合わせ先

バルティス ジャパン株式会社

〒105-6137 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 37階
広報担当・北原 文代 電話 :03-5403-1485 ファクシミリ :03-5403-1477

バルティス ファーマ株式会社

〒106-8618 東京都港区西麻布 4-17-30
広報担当・渡辺 邦男 電話 :03-3797-8027 ファクシミリ :03-3797-4367

バルティス アグロ株式会社

〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33、34階
広報担当・秋山 巍人 電話 :03-3435-5258 ファクシミリ :03-3435-4010

チバビジョン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー 13階
広報担当・清野 美智恵 電話 :03-5461-1301 ファクシミリ :03-5461-1396

バルティス シート株式会社

〒289-2304 千葉県香取郡多古町高津原向ノ台 401-2
広報担当・館沢 佑 電話 :0479-75-3111 ファクシミリ :0479-75-3122

1998年 1月 - 9月上

	1998年		1997年		前年比 %	
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	スイフラン	現地通貨
ヘルスケア	13,337	12,135	12,795	10,496	4%	7%
医薬品	11,057	10,061	10,631	8,721	4%	7%
ジェネリック	1,160	1,055	1,099	902	6%	14%
チバビジョン	1,120	1,019	1,065	874	5%	7%
アグリビジネス	6,831	6,216	6,707	5,502	2%	4%
農薬	4,890	4,449	4,863	3,989	1%	3%
種子	1,224	1,114	1,142	937	7%	10%
動物薬	717	652	702	576	2%	5%
コンシューマヘルス	4,422	4,024	4,349	3,567	2%	3%
栄養食品	3,164	2,879	3,080	2,527	3%	4%
一般薬	1,258	1,145	1,269	1,041	-1%	0%
合計	24,590	22,374	23,851	19,565	3%	6%

1998年 第3四半期 売上

	1998年		1997年		前年比 %	
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	スイフラン	現地通貨
ヘルスケア	4,810	4,377	4,431	3,635	9%	13%
医薬品	4,048	3,683	3,703	3,038	9%	14%
ジェネリック	390	355	361	296	8%	15%
チバビジョン	372	338	367	301	1%	6%
アグリビジネス	1,525	1,388	1,422	1,166	7%	13%
農薬	1,146	1,043	1,105	906	4%	9%
種子	158	144	113	93	40%	44%
動物薬	221	201	204	167	8%	15%
コンシューマヘルス	1,485	1,351	1,436	1,178	3%	6%
栄養食品	1,035	942	996	817	4%	7%
一般薬	450	409	440	361	2%	4%
合計	7,820	7,115	7,289	5,979	7%	12%

1998年換算レート: 1スイフラン=90.99円

1997年換算レート: 1スイフラン=82.03円